

我輩はカモである (1933)

DUCK SOUP

メディア 映画
ジャンル コメディ
製作国 アメリカ
色彩 B&W
時間 69分
初公開日 1934/01
公開情報 劇場公開

【解説】

抱腹絶倒のアナーキズムに貫かれた奇跡のコメディ。フリードニア共和国なる架空の国を舞台に、末弟ゼッポを含むマルクス四兄弟が国盗りごっこを繰り広げる。財政難に陥った同国は富豪のディスデル夫人の援助なしには立ちゆかないが、彼女は愛人のルーファス（グルーチョ）が宰相になるのを条件にそれを承諾。この政変の際に隣国の指導者トレンティノ（L・カルハーン）はフリードニア乗っ取りを企み、チコリニ（チコ）とピンキィ（ハーポ）のスパイ・コンビを送り込むが、そのチコリニが陸軍大臣にされ、トレンティノ自ら乗り込んで夫人との政略結婚を狙うのだが……。ナチズムの狂気を予見し、それを嘲笑うかのような、これもまた聖なるマルクスズム？

【クレジット】

| | | |
|----|-------------|-----------------|
| 監督 | レオ・マッケリー | Leo McCarey |
| 脚本 | バート・カルマー | Bert Kalmar |
| | ハリー・ルビー | Harry Ruby |
| 撮影 | H・シャープ | |
| 出演 | グルーチョ・マルクス | Groucho Marx |
| | チコ・マルクス | Chico Marx |
| | ハーポ・マルクス | Harpo Marx |
| | ゼッポ・マルクス | Zeppo Marx |
| | マーガレット・デュモン | Margaret Dumont |
| | ルイス・カルハーン | Louis Galhern |